

令和6年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会
在宅医療・介護等連携部会 実施状況

1 設置目的

各ワーキングのとりまとめ、高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の事前協議を行う。

2 会議の報告

(1)日時：10月10日(木) 19時30分～21時

(2)会場：高岡市保健センター3階講義室

(3)意見交換

出された意見	対応（予定）
高岡多職種ネットの稼働状況の評価も必要ではないか（チャット数、どんな疾患のケースで利用しているか等）。	・チャット数等について把握できるかは、帝人ヘルスケア株式会社に問合せ中 ・グループを作成した目的（疾患や状態等）を把握するためには、高岡多職種ネットの申請書の様式変更が必要となるため、今後、情報共有ワーキングにおいて、検討する。
在宅療養を継続するには、危険因子となる肺炎、骨折、脳卒中の予防について専門職が知識を深める必要がある	今後、在宅支援ワーキングにおいて、検討する。
事業について、ロジックモデル ^{*1} に落とし示すことで、目標やなぜその事業を行うかの根拠等が分かりやすくなるのではないか	今後、事務局において、検討をする。
多職種共通の情報共有ツールについて、函館医療連携サマリーの情報提供有り	今後、情報共有ワーキングにおいて、検討する。
普及啓発ワーキングについて、ACPに偏りすぎではないか。ACPについては、専門職への普及、市民への普及の両方の視点が大切である。	今後、普及啓発ワーキングにおいて、検討する。

*1 ロジックモデル：計画の目標である長期成果（最終アウトカム）を設定した上で、それを達成するために必要となる中間成果（中間アウトカム）を設定し、当該中間成果を達成するために必要な個別施策を設定する等、計画が目標を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。

(4)その他

林委員より、「在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング」について報告

- ・高岡市医師会の在宅医療連携会の医師を対象に、看取り等の連携についてのアンケートを実施。主治医が不在中の看取りや急変時の対応についての連携について意見の取りまとめを行い、今後の対応を検討している。